

2 - 4 東北大学における地殻変動連続観測（傾斜，1985年6月まで） Continuous Observation of Crustal Movement (Tilt until June 1985)

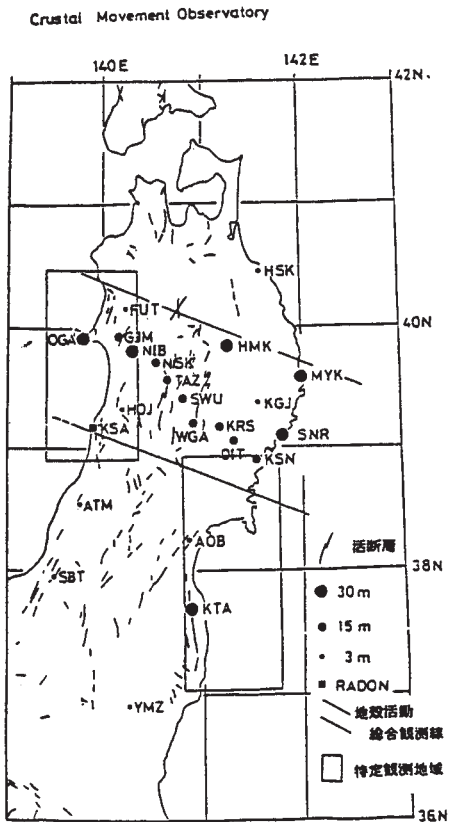
東北大学 理学部
Faculty of Science, Tohoku University

東北大学では1967年の秋田地殻変動観測所の設置以来，地殻変動連続観測を実施している。第4次地震予知計画で完成した地殻活動総合観測線を含み観測点は合計27ヵ所となった（第1図）。

ここでは1975年以來の20ヵ所での水管傾斜計による観測結果について報告する。第2図は各観測点の最大下降傾斜ベクトル図である。各観測点ごとに傾斜変動は異なり，年周変化の明瞭な観測点，経年変化の卓越している観測点などが見られる。第1図に観測点の水管の長さを示してあるが，概して水管のスパンの短い観測点は変動も大きく，長い観測点は変動が小さい様である。

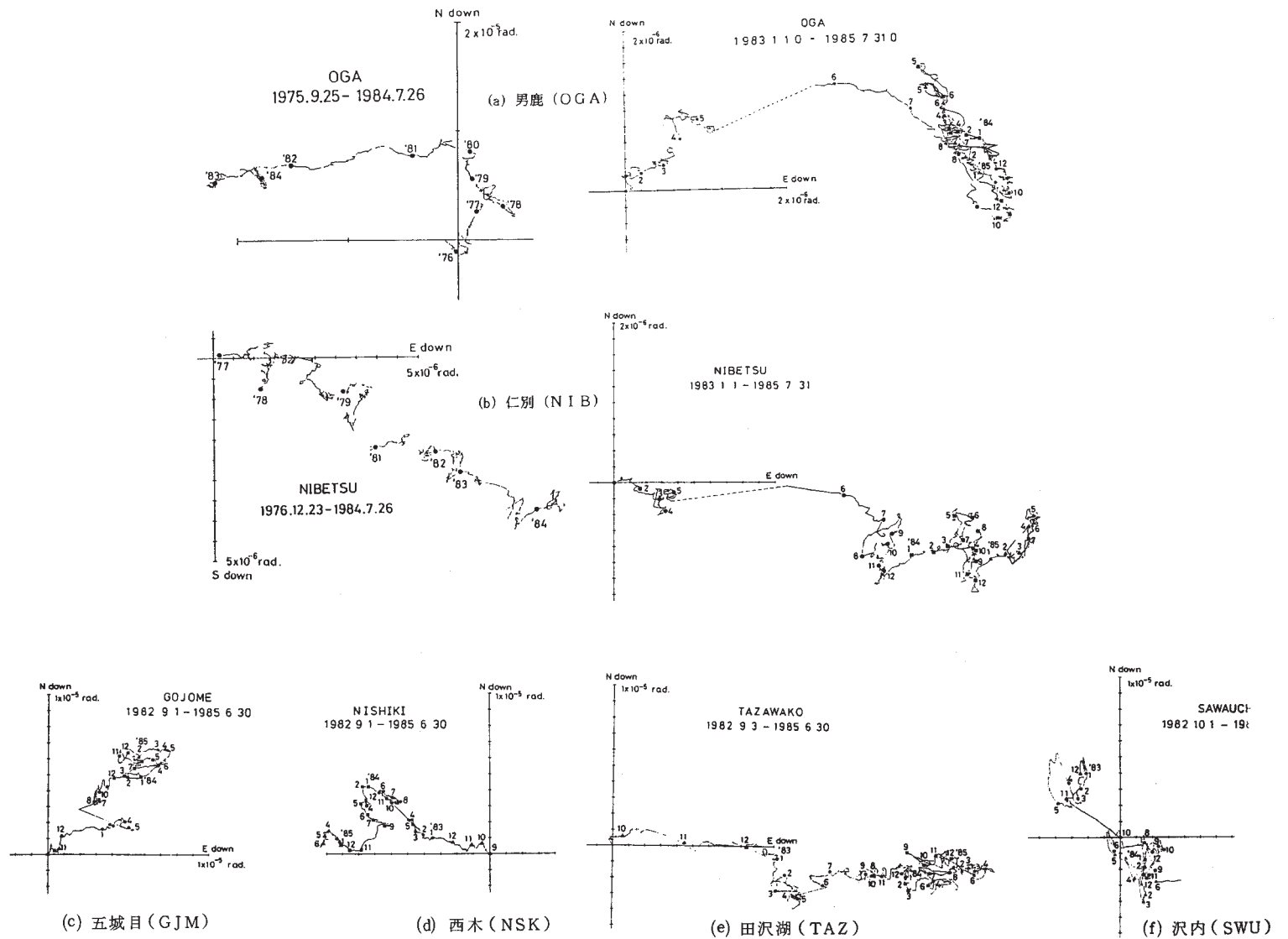
参 考 文 献

- 1) 東北大学理学部：日本海中部地震前後の地殻変動，連絡会報，**31**（1984），69 - 83.
- 2) 東北大学理学部：北上地震観測所における地殻変動アレイ観測，連絡会報，**34**（1985），39 - 43.



第1図 観測点配置

Fig 1 Location of observation stations

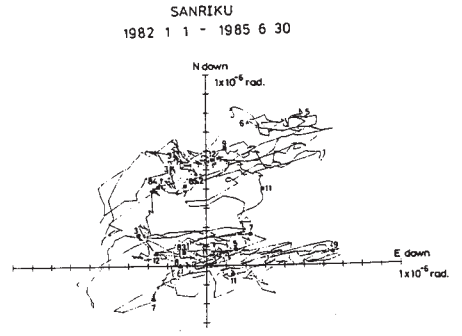
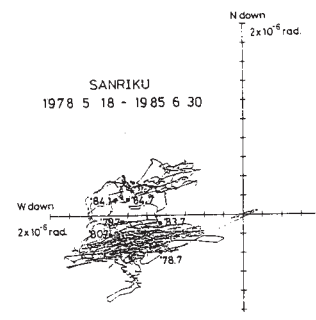
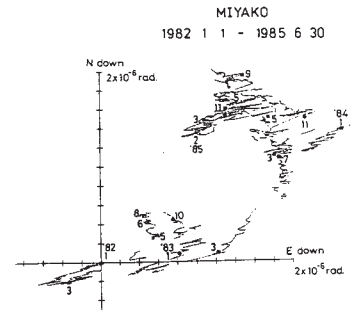
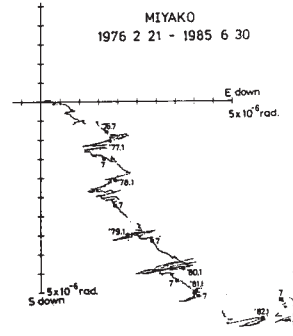
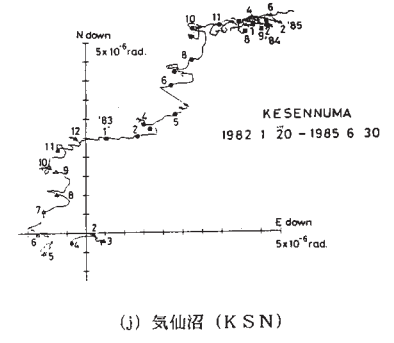
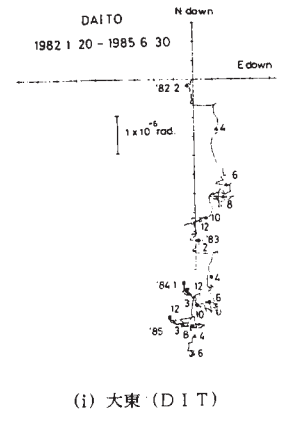
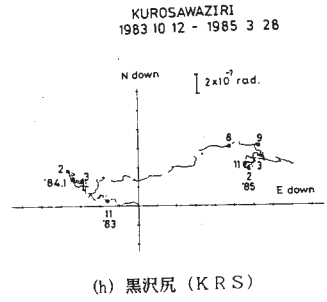
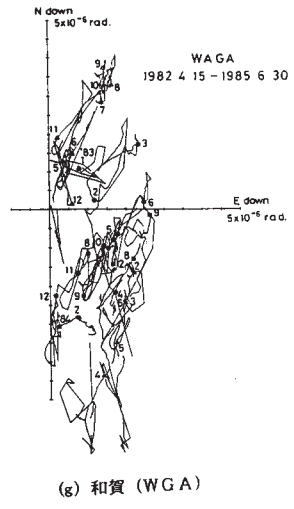


第2図 水管傾斜計により観測された最大下降ベクトル図

(a) 男鹿, (b) 仁別, (c) 五城目, (d) 西木, (e) 田沢湖, (f) 沢内

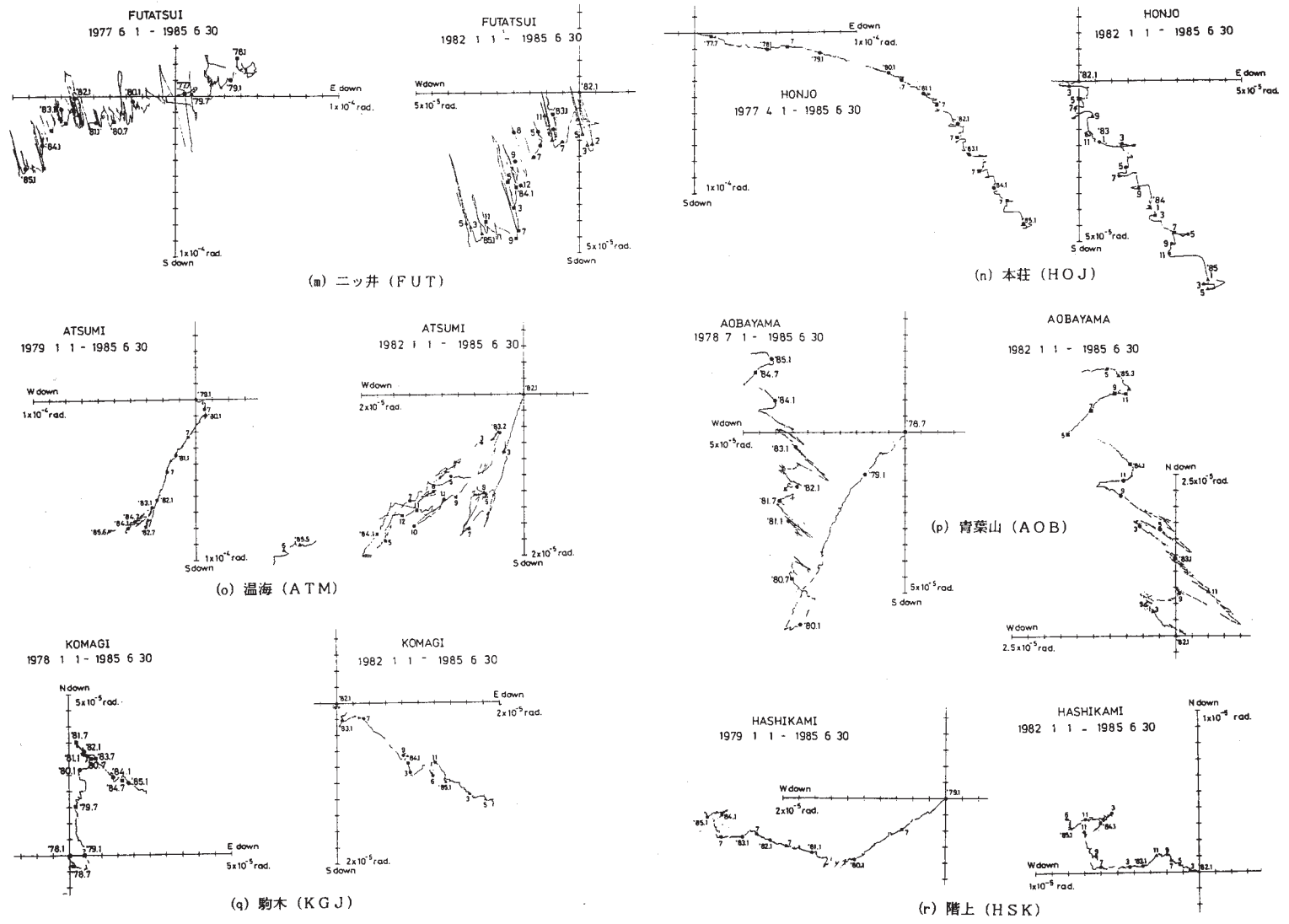
Fig. 2 Vector diagram of the maximum descending tilt direction observed by watertube tiltmeters.

(a) OGA, (b) NIB, (c) GJM, (d) NSK, (e) TAZ, (f) SWU.



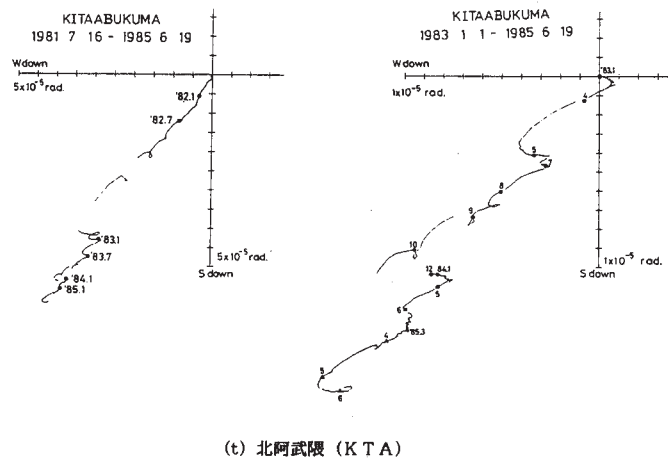
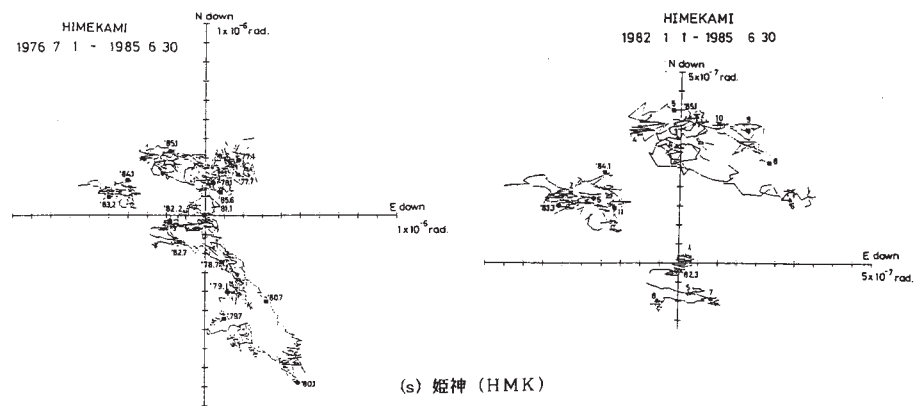
第2図 水管傾斜計により観測された最大下降ベクトル図
(g) 和賀, (h) 黒沢尻, (i) 大東, (j) 気仙沼, (k) 宮古, (l) 三陸

Fig. 2 Vector diagram of the maximum descending tilt direction observed by watertube tiltmeters.
(g) WGA, (h) KRS, (i) DIT, (J) KSN, (k) MYK, (I) SNR



第2図 水管傾斜計により観測された最大下降ベクトル図
 (m) ニツ井, (n) 本荘, (o) 温海, (p) 青葉山, (q) 駒木, (r) 階上

Fig. 2 Vector diagram of the maximum descending tilt direction observed by watertube tiltmeters.
 (m) FUT, (n) HOJ, (o) ATM, (p) AOB, (q) KGI, (r) HSK



第2図 水管傾斜計により観測された最大下降ベクトル図
(s) 姫神, (t) 北阿武隈

Fig. 2 Vector diagram of the maximum descending tilt direction observed by watertube tiltmeters.
(s) HMK, (t) KTA